

GPAI Tokyo

Expert Support

GPAI東京専門家支援センターの 活動について

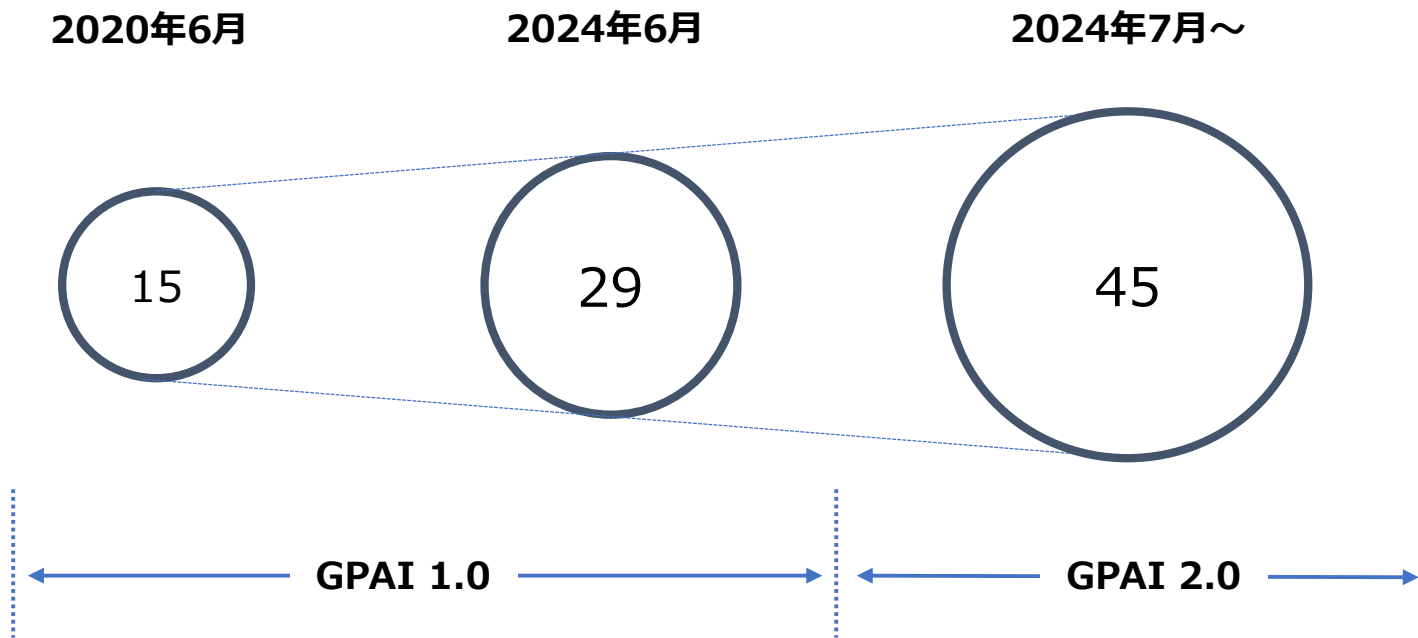
GPAI東京専門家支援センター

2024年11月

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
GPAI東京専門家支援センター（Tokyo ESC）

1. GPAI とは？

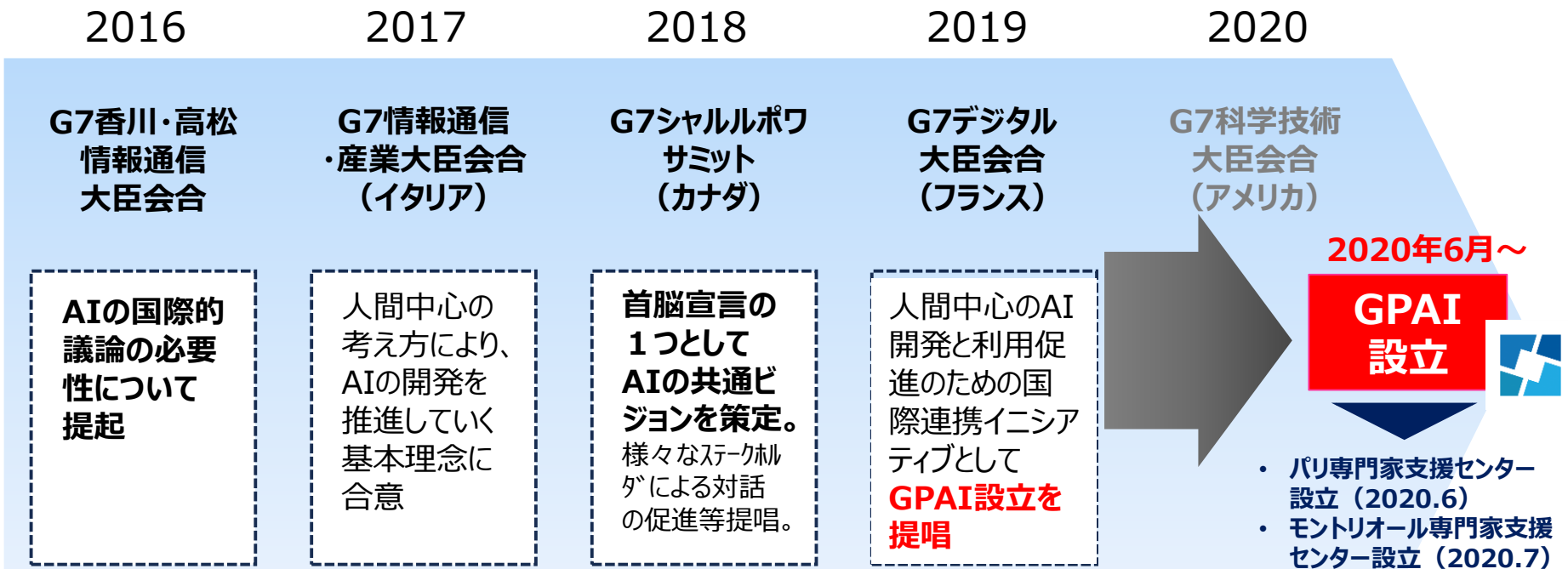
- ✓ The Global Partnership on Artificial Intelligence (GPAI) は、**人間中心の安全で安心なAIの開発・利用・社会実装を目的**とし、政府・国際機関・産業界・学界・市民社会の価値観を共有する専門家により構成される**マルチステークホルダーのイニシアティブ**である。
- ✓ **発足は2020年6月**。日本は、当初参加**15か国**※のうちの一つ。
※日本、米国、英国、EU、ドイツ、フランス、イタリア、スロベニア、カナダ、韓国、シンガポール、インド、オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ
- ✓ 2024年6月までに、**29**の国・地域が参加（欧州15、アジア4、南米3、中東アフリカ3）。同7月の「**GPAI2.0**」(OECDとの事務局統合)への移行により、参画数は**45**となった。



2. G7からGPAI設立への経緯

- ✓ GPAIは、**G7を起源**とする取組であり、**カナダとフランスのイニシアティブの下で発足**。
- ✓ G7において**初めてAIの国際的議論の必要性について提起**されたのは、**2016年のG7香川・高松情報通信大臣会合**。その後、**2018年のカナダ・G7シャルルポワサミットにおいて、首脳宣言の1つとして、AIの共通ビジョン**（「AIの未来のためのシャルルポワ共通ビジョン」）が**策定**され、様々なステークホルダーによる対話の促進、ガイダンスを提供するイニシアティブの奨励等について、首脳レベルで合意された。
- ✓ 当該ビジョンを踏まえ、**2019年のフランス・G7デジタル大臣会合においてGPAIの設立が提唱**され、翌**2020年6月にGPAIが発足**した。また、これに伴い、**同年6月にパリ専門家支援センター、同年7月にモントリオール専門家支援センターが設立**された。

※なお、GPAIサミットは、第1回(2020.12)はカナダ、第2回(2021.11)はフランス、第3回(2022.11)は日本で開催された



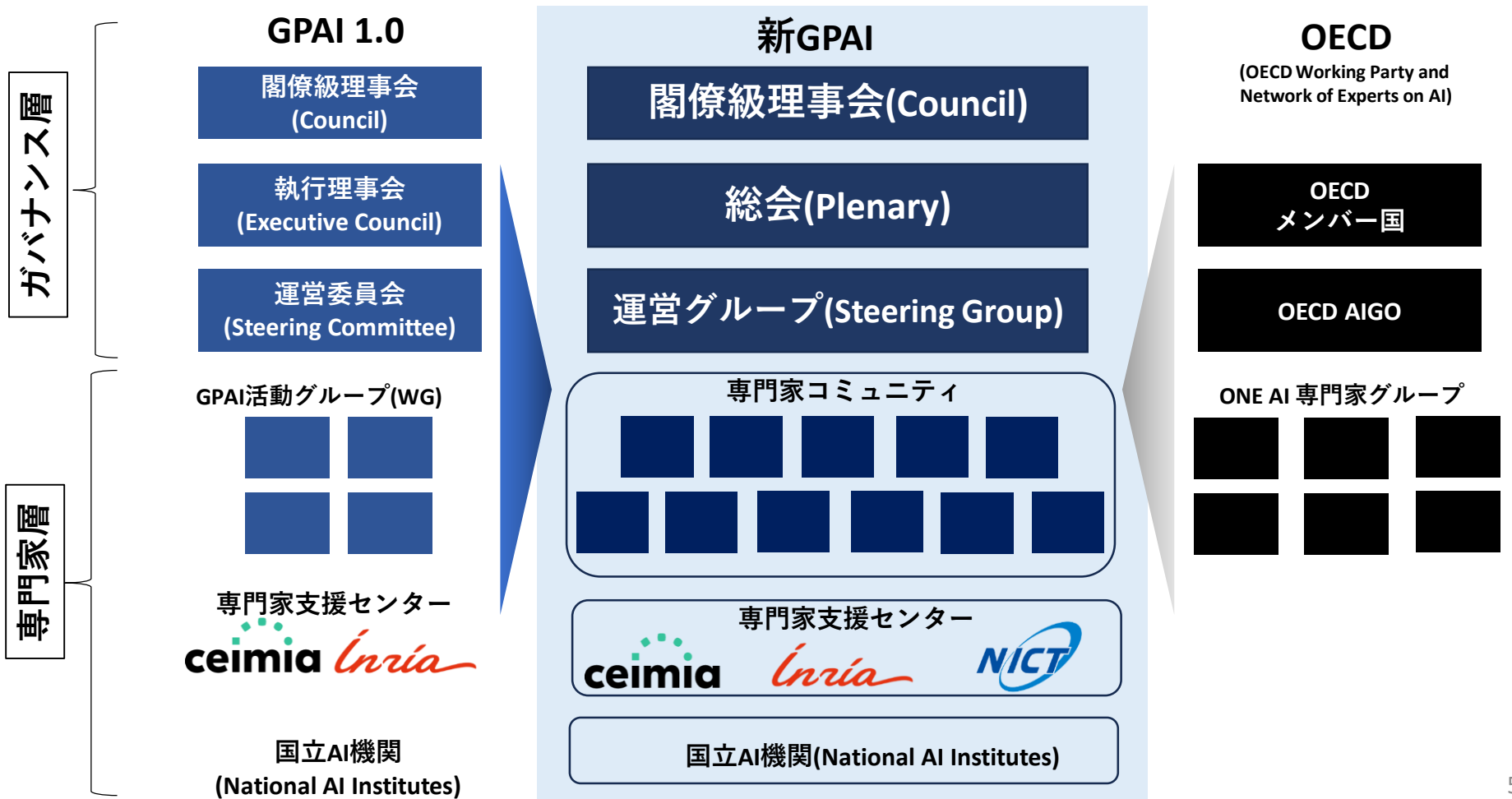
3. GPAI東京専門家支援センター（東京ESC）

- ✓ 2023年10月に合意された「**広島AIプロセスに関するG7首脳声明**」において、関係閣僚に対し、GPAI等とのプロジェクトベースの協力を更に前進させることを求めた。
- ✓ GPAIには実証的な知見に根ざしたプロジェクト活動を推進することが期待されている中、2023年12月のインドにおけるGPAIサミット関連会合にて、**東京専門家支援センター設置**のほか、SAFEプロジェクト（生成AIの安全性を保証するための実践的なアプローチ）を同センターで支援していくことが承認された。
- ✓ 2024年7月1日、**GPAI東京専門家支援センター（東京ESC : Tokyo Expert Support Center）**が、**国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）**内に設置された。



4. OECDとの統合パートナーシップ

- ✓ 2024年7月、**GPAIは、OECD**における「AIに関する専門家会合(AIGO)」及び「AIに関する専門家ネットワーク(ONE AI)」と**事務局機能を統合し、新たな体制に移行**した。
- ✓ 今後は、**OECD事務局と3つの専門家支援センター**が**専門家と連携してプロジェクト活動を進めていく**予定。



(1) SAFEプロジェクト (2024.7~)

GPAIにおいて**生成AIの商用化時の安全性を保証する実践的なアプローチ**の展開を支援する取組。

○3つのトラック

- ・「LLMの技術的安全性、LLMのデータガバナンス、AGI(汎用AI)の安全性」
という3つのトラックを設定して、プロジェクトを推進

○キックオフ会合 (2024.10.10 Project SAFE Plenary)

- ・SAFEプロジェクトに参加する専門家にプロジェクトのアウトラインと今後の進め方を説明。12月のAIサミットに成果中間報告を確認。



キックオフ会合の様様

(2024年の今後の予定)

	10月	11月	12月	1月	2月
SAFE Project	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会合 (10/10) ・分科会 (10/24) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会 (11月下旬) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会 ・全体会合 (12月中旬) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会 ・全体会合 	<div style="text-align: center;"> <p>2025年体制へ移行</p> </div>
GPAIほかイベント		<ul style="list-style-type: none"> ・GPAIプレナリー (11/12-13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPAIサミット (12/3-4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・AIアクションサミット(パリ) (2/10-11) 	

進捗状況報告

進捗状況報告

活動報告

5. 東京ESCの活動 ②東京イノベーションワークショップ

- ✓ GPAIでは、GPAI内のWG毎に活動している**世界各地のAI専門家が、WGの垣根を越えて直接意見交換し、また多様な外部専門家と交流できる場として、毎年、イノベーションワークショップを開催**（2023.9モントリオール、2024.5パリ）。
- ✓ 2025年は東京開催への期待が高まっており、**来春に東京でイノベーションワークショップを開催する予定。**

・ **日時** 2025年6月頃(2日間)

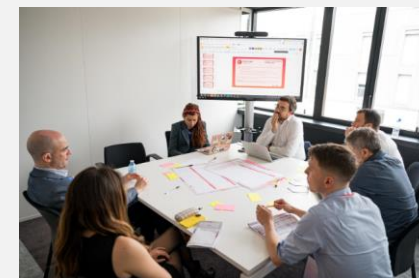
・ **場所** NICTイノベーションセンター(日本橋)

・ **参加** GPAI加盟国政府に加え、国内外からのAI専門家を招請

・ **目的** 新GPAIとして、未来に向けて新たにどのような取組を行っていくことが望ましいか、“Integration and Rebirth”をテーマとして、全体討議、テーマ別グループ討議により議論・意見交換を行う。マルチステークホルダーの特性にかんがみ、NICT 及び 民間のAI開発企業等とGPAI専門家が交流する機会も提供予定。



会場イメージ



様々な場面での連携・協議と情報発信（7-10月）



GPAIサミット@インド【海外発信】



日本AISII【政府間連携】



GenAIサミット@九段【国内発信】



富士通【民間との連携】



NICTユニバーサルコミュニケーション研究所
及び脳情報通信融合研究センター(CiNet)
【機構内連携】



大阪大学ELSIセンター【学界との連携】

✓ NICTにおいてGPAI東京専門家支援センターの業務を行う意義は、以下 2 つあると考えられる。

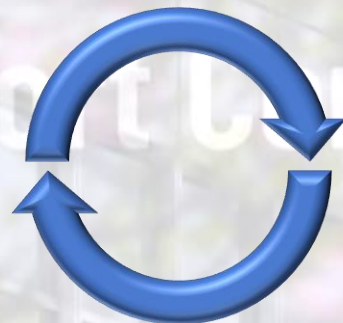
1. 専門的見地からGPAIへの貢献

➤ AIの研究開発に取り組むNICTが専門家支援業務を行うことで、これまでの専門家支援センターにない技術的・専門的知見をGPAIに提供すること可能となり、各国専門家の知見と融合することで、GPAIにおいてより高いレベルの専門的活動が可能になる

2. 国際動向を踏まえた研究開発・社会実装への貢献

- グローバルに活動する専門家の知見やGPAIの国際動向がNICT内に共有され、AIを取り巻く国際的動向と整合性が取りやすくなるなど、NICTのAI研究開発の推進に貢献する
- またNICTは日本のAI研究開発の一翼を担う国研として、GPAIの活動をより積極的に日本のAI研究開発コミュニティにも情報発信し、関連コミュニティの国際動向を考慮した研究開発・社会実装の加速にも貢献する

✓ 東京専門家支援センターでは、NICT及びGPAIの双方にとって意義のある取組を進めていく。



専門的見地から
GPAIへの貢献

国際動向を踏まえた
活動が容易に

ご清聴ありがとうございました。

<https://www2.nict.go.jp/gpai-tokyo-esc/>